

## リサーチグループ登録届出書

平成 25 年 1 月 17 日

1. リサーチグループの概要

リサーチグループの名称 LAS (Library and Aged Society)

リサーチグループの名称(英語) LAS (Library and Aged Society)

分野 (1.人文系、2.理工系、3.生物系、4.複合系) 4

設置開始時期 2012 年 7 月

設置終了時期 2017 年 3 月

2. リサーチグループ代表者

所属・職名 図書館情報メディア系・教授

氏 名 綿抜 豊昭

氏名(英語) Toyoaki Watanuki

3. 連絡先

所属・職名 図書館情報メディア系・准教授

氏 名 呑海 沙織 (どんかい さおり)

電 話 029-859-1332

F A X \_\_\_\_\_

E - m a i l donkai@slis.tsukuba.ac.jp

4. 担当部局 (当該リサーチグループの運営等を管理する部局名)

図書館情報メディア系

5. 構成員一覧について

氏名	所属部局	職名	専門	学位	役割分担
綿拔 豊昭	図書館情報メディア系	教授	文学・図書学	博士(文学)	代表者
溝上智恵子	図書館情報メディア系	教授・図書館情報メディア研究科長	教育学	博士(政治学)	モデル構築
呑海 沙織	図書館情報メディア系	准教授	図書館情報学	博士(創造都市)	調査分析

共通様式③

6. 科研費細目番号	主なものから順番に3つまで記載してください。		1501 生活科学一般	3802 社会福祉学	4004 特別支援教育
7. キーワード（5つまで）	高齢者	図書館	高齢社会		
8. キーワード（英語）	Elderly People	Library	Aged Society		
9. 研究グループ HP	URL を記載してください。	準備中			
10.研究グループ概要（100字程度）					
公共図書館の高齢者サービスを一元的にとらえるのではなく、超高齢社会における地域運営の担い手として積極的に社会参加する高齢者を視野に入れたサービス・モデルを提示する。新たな「シニア・サービス」として位置づけ、今後の図書館サービスのあり方を検討する。					
11. 研究グループ概要(英語)					
A purpose of the group is to propose a library and information service model for elderly people. It is important to put our focus on the elderly people who take an active role in the community in a super aged society. We call it “Senior Service” and discuss library and information services in the future.					
12. 設置の目的及び必要性					
日本では、世界に先駆けて高齢化が急速に進んでいるにもかかわらず、高齢者を対象とした図書館サービスが立ち遅れている。超高齢社会を迎えた現在、図書館という誰もが集うことができる公共の場を介して、弱者としての高齢者の社会的包含だけでなく、アクティブ・シニアの地域参加を目的とした情報リテラシーの向上を考える必要がある。					
13.研究計画					
高齢者の学習活動や社会参加を推進するための公共図書館における「シニア・サービス・モデル」を構築するために、下記の調査を行う。 ①国内外において特徴的な高齢者サービスを展開している公共図書館を対象として現地調査を行うとともに、資料収集を行う。 ②国内の公共図書館における高齢者サービスの現状を把握するために、公共図書館を対象とした質問紙調査を行う。					
14. 研究・教育に期待される効果（箇条書き）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生を含んだ取り組みとすることによって、学生の実践的な研究に対する意識を高めることができる。</li> <li>・高齢社会先進国である日本の取り込みとして、国際的に先導的な役割を果たすことができる。</li> </ul>					